

令和7年7月15日

称号審査会のご案内

港区剣道連盟

教士称号審査会及び錬士称号審査会が別紙要項のとおり実施されます。

受審を希望される方は、下記のとおりお申込みください。

1 申込方法

(1) 受審申請書等の提出

受審申請書に必要事項を記入し、小論文、講習手帳を添えて、下記までお申込みください。(申請書・小論文の記入方法の詳細は要項をご確認ください)

※申込みの際は、納入明細書もご提出ください。

＜申込先＞

〒105-0023 港区芝浦 1-16-1 港区体育協会内 港区剣道連盟事務局

(2) 選考料及び審査料の払込み (金額は要項をご確認ください)

＜振込先＞

みずほ銀行芝支店 普通 4 2 9 0 8 7 8 口座名義：東京都港区剣道連盟

※振込みされた場合は、会計担当にメールで、振込の内容（振込日、振込み名義人、団体名、振込み金額及びその内訳等）をお知らせください。

メール送信先： info@minatoku-kendo.com

(3) 申込み締切日

教士・錬士共通 令和7年9月4日（木）必着

＜問合せ先＞ 港区剣道連盟事務局 info@minatoku-kendo.com

2 受審資格

＜共通＞港区剣道連盟の令和7年度正会員である者

(1) 教士 (下記の①及び②に該当する者)

①錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過した者

②東京都剣道連盟が認める指導者講習会を3回以上(令和4年7月以降)受講し、かつ加盟団体(＝港区剣道連盟)の認める指導場所等において週1回、1年以上の指導歴を有する者 (申請書に添付する講習手帳で確認する)

(2) 錬士 (下記の①又は②に該当し、かつ、③に該当する者)

①六段受有者で、受有後1年以上を経過した者

②五段受有者で、受有後10年以上を経過し、かつ、年齢60歳以上の者

③東京都剣道連盟が認める審判講習会を3回以上(令和4年7月以降)受講し、かつ加盟団体(＝港区剣道連盟)等の主催する大会において5回以上の審判歴を有する者 (申請書に添付する講習手帳で確認する)

＜参考＞称号登録料のご案内(合格後に納付)

教士 86,100円 錬士 60,100円

年 月 日

教士・錬士審査会審査料等納入明細書

団体・学校名: _____

申込担当者: _____

連絡先電話: _____

1 審査料及び選考料

区分	審査料・選考料(円)	申込者数(人)	小計(円)	備考
教 士	21,000			
錬 士	17,900			
計				← ①

2 年度会費・入会金等

【重要】令和7年度の港区剣道連盟の正会員登録が済んでいない場合は、年度会費(東剣連会費を含む)も同時にお支払いください。初回登録の場合は、入会金もお支払いください。 ※準会員登録では審査の申込みができませんのでご注意ください。

納入内訳		金額(円)	納入者数(人)	小計(円)	備考
年会費	一般社会人	10,000			
	東剣連年会費	500			
入会金(一般社会人)		2,000			
計					← ②

※上記の年度会費等納入者に関しては、会員登録名簿も同時にご提出ください。

3 納入合計金額

① + ② = _____ 円

振込名義人

ア 申込み担当者と同じ イ その他()

【重要】

振込みされた場合は、港区剣道連盟会計担当あてに、メールで振込の内容(振込日、振込名義人、団体名、振込金額及びその内訳等)をお知らせください。
送信先: info@minatoku-kendo.com

剣道・居合道および杖道教士称号審査会要項

1. 受審資格

錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過（令和5年11月30日以前に取得）した者。

※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第21条2項（東剣連が認める指導者講習を3回以上（有効期間3年）受講し、かつ加盟団体の認める指導場所等において週1回、1年以上の指導歴を有する者）の資格を有する者。

なお、講習会の有効期間3年は、令和4年7月以降とする。

※錬士取得後続けて教士を申請する場合、講習会は改めて3回受講しなければならない。

※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦委員会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。

※年齢基準は、審査当日令和7年11月20日とする。

※全剣連社会体育指導員上級取得者は小論文を免除する。

2. 申込方法

受審希望者は、所定の教士受審申請書及び封筒長3に封印した小論文（自筆、パソコン不可）に講習手帳を添え、港区剣道連盟に申し込むこと。

申込先、締切り日等は、別紙参照のこと。

3. 審査の方法

課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

(1)課 題 剣道の課題「剣道指導者としてのあり方」、居合道の課題「称号（教士）としての指導への取り組みについて」、杖道の課題「称号（教士）としての指導と今後の杖道普及への具体的な取り組み」

(2)字 数 800字以上1,200字以内

(3)用 紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～3行目に表題と登録都道府県名である東京都と氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。原稿用紙の右上をホッチキスで止めること。

(4)提 出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道称号教士受審」・「居合道称号教士受審」・「杖道称号教士受審」のうち該当するものを、裏に登録都道府県である東京都と自分の氏名を表記のうえ封印すること。

4. 選 考 料

1人 2,200円

5. 審 査 料 18,800円

（東京都剣道連盟の称号推薦委員会で不合格になった者には審査料を返金する）

合計
21,000円

6. 合格発表（全日本剣道連盟による）

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣道連盟に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」および全剣連ホームページ（<https://www.kendo.or.jp/>）に合格者の氏名を掲載する。

7. 個人情報保護法への対応

以下を申込者に周知して下さい。

参加者の個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は、全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が行事運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号
年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。
*申請番号は若年順に記入する。

1. 剣 道
2. 居合道
3. 杖 道

教士 受審申請書（本人用）

※ 試験会場

*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

（申請都道府県剣道連盟）一般財団法人 東京都剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受 審 者 氏 名

(旧姓)

2 生 年 月 日

年	月	日	生	年齢 満	歳
---	---	---	---	------	---

3 性 別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

称 号	錬 士	段 位	段
年	月	年	月
登録県名		登録県名	

取得 年 月

登 録 県 名

5 全剣連番号

顔写真を貼つ
てから提出し
てください
(3 cm × 4 cm)

不 要

6 住 所

7 電 話 番 号

	携帯番号	
--	------	--

8 職 業

現職		前職	
----	--	----	--

※出来るだけ具体的にお書きください。（無職の方は前職を記入）

9 全剣連社会体育
上級認定年月

※上級認定者のみ記入

[剣 歴]※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号

令和 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

教士 受審申請書 (本人用)

- ① 剣 道
2. 居合道
3. 杖 道

*該当するものに○印をする。

※ 試験会場

空欄にして下さい

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟) 一般財団法人東京都剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則【第11条第1項】に基づき、
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

トウキョウケンイチ

東京 剣 一

(旧姓)

2 生 年 月 日

50年 3月 24日 生

年齢 満 45 歳

3 性 別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

称 号	錬 士	段 位	7 段
-----	-----	-----	-----

取得 年 月

20年	5月	25年	5月
-----	----	-----	----

登 録 県 名

登録県名	東 京	登録県名	東 京
------	-----	------	-----

5 全剣連番号

3 5 8 7 4 3 2

6 住 所

〒105-0004

港区新橋4-24-2

7 電話番号

03-5405-2166

携帯電話

090-0000-0000

8 職 業

現職

会社員

前職

※出来るだけ具体的にお書き下さい。(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定年月

平成 29年 8月 認定

※上級認定者のみ記入

[剣 歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

- 東京都剣道大会 2 位
○ 国民体育大会出場

剣道・居合道および杖道錬士称号審査会要項

1. 受審資格

- (1)六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和6年11月30日以前に取得）した者。
- (2)五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成27年11月30日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。
- ※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第21条2項（東剣連が認める審判講習を3回以上（有効期間3年）受講し、かつ加盟団体等の主催する大会において5回以上の審判歴を有する者）の資格を有する者。なお、講習会の有効期間3年は、令和4年7月以降とする。
- ※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦審議会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。
- ※年齢基準は、審査当日令和7年11月20日とする。
- ※全剣連社会体育指導員中級取得者は小論文提出を免除する。

2. 申込方法

受審希望者は、所定の錬士受審申請書及び封筒長3に封印した小論文（自筆、パソコン不可）に講習手帳を添え、港区剣道連盟に申し込むこと。

申込先、締切り日等は別紙参照のこと。

3. 小論文

- (1)課 題 剣道・居合道・杖道共に平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの剣道・居合道・杖道修業について述べなさい。
- (2)字 数 400字以上800字以内
- (3)用 紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）。用紙1～4行目に表題と登録都道府県名である東京都と氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上をホッチキスで止めること。（凡例参照）
- (4)提 出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道錬士受審」・「居合道錬士受審」・「杖道錬士受審」のうち該当するものを、裏に登録都道府県である東京都と自分の氏名を表記し封印すること。

4. 審査の方法

- (1)小論文の審査
全剣連は小論文について、課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道・居合道・杖道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。
- (2)審査会による審査
全剣連は小論文を採点のうえ審査会に付議して可否を決定する。

5. 選考料

1人 2,200円

6. 審査料

15,700円

（東京都剣道連盟の称号推薦委員会で不合格になった者には返金する）

合計
17,900円

7. 合格発表（全日本剣道連盟による）

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付する。後日、全剣連月刊「剣窓」および全剣連ホームページ（<https://www.kendo.or.jp/>）に合格者の氏名を掲載する。

8. 個人情報保護法への対応

以下を申込者に周知して下さい。

参加者の個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は、全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が行事運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

鍊士小論文 原稿用紙記載での留意事項

①市販B4縦書き四〇〇字詰め原稿用紙使用

② 一、四行目表題と登録都道府県・氏名記入

③ 五行目二段目よりお書きください。

④ 二枚の原稿用紙 右上ホツチキスで止める

⑤ 手書きによる自筆

鉛筆またはシャープペンシル書きは不可

⑥ 左の凡例を参照してください。

[illegible]

申請番号

--

全剣連称号・段位様式第 5 号
年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

1. 剣 道

2. 居合道

3. 杖 道

錬士 受審申請書（本人用）

*該当するものに○印をする。

（申請都道府県剣道連盟）一般財団法人 東京都 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

	フリガナ		フリガナ				
1 受審者氏名	<table border="1"><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr></table>			(旧姓)	<table border="1"><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr></table>		

2 生年月日	年 月 日 生	年齢 満 歳
--------	---------	--------

3 性 別 男 ・ 女

4 取得称号・段位	段 位	段
取得 年 月	年	月
登 録 県 名	登録県名	

5 全剣連番号	
---------	--

6 住 所	〒
-------	---

7 電 話 番 号		携帯番号	
-----------	--	------	--

8 職 業	
-------	--

9 全剣連社会体育 中級認定年月	年 月 認定
---------------------	--------

※認定者のみ記入。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 5 号
令和 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

- ①. 剣 道
2. 居合道
3. 杖 道

錬士 受審申請書（本人用）

*該当するものに○印をする。

（申請都道府県剣道連盟）一般財団法人東京都剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則【第11条第1項】に基づき、
道 錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ	フリガナ
1 受審者氏名	トウキョウケンイチ 東京 剣 一 (旧 姓)
2 生 年 月 日	55年 3月24日 生 年齢 満 40 歳
3 性 別	男 ・ 女
4 取得称号・段位	段 位 6 段
取得 年 月	29年 5月
登 録 県 名	登録県名 東 京
5 全剣連番号	3587432
6 住 所	〒105-0004 港区新橋4-24-2
7 電話番号	03-5405-2166 携帯電話 090-0000-0000
8 職 業	自 営 業
9 全剣連社会体育 中級認定年月	平成29年8月 認定

※認定者のみ記入

令和7年度 港区剣道連盟会員登録名簿（社会人用）

提出日： 年 月 日

団体名： _____

会員種別	氏名	フリガナ	生年月日	郵便番号	自宅住所	電話番号	称号	取得年月日	段位	取得年月日	全剣連番号	港区剣連 年会費	東剣連 年会費	入会金
正・準														
正・準														
正・準														
正・準														
正・準														
正・準														
正・準														
正・準														
正・準														
正・準														

<会員種別>
正会員：港区剣道連盟年会費 及び 東京都剣道連盟登録会員年会費（有段者のみ）を納入
準会員：港区剣道連盟年会費 のみ納入（他の剣道連盟の正会員であること）
※段位を持っていない場合は会員種別欄の記入は不要です。

<会費等の金額> ◇該当欄に納入金額をご記入ください。
港区剣連年会費：10,000円、東剣連年会費：500円、入会金2,000円